



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

2023年度 業務報告会

検査システム委員会 活動報告

2024年2月13日
検査システム委員会
委員長 福重 二三男

- 今年度の事業計画
- 今年度の活動状況・成果

- 専門委員会、WG報告
 - 臨床検査システム専門委員会
 - 内視鏡部門システム専門委員会
 - 病理・臨床細胞部門システム専門委員会
 - 放射線治療WG
 - 検査レポート検討WG
 - DICOM WG

- 来年度の事業計画

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。

(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.3.0」 **制定 (2023.8発行)**
 - 「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.2.0」(2019.2発行)の定期見直しを実施。
 - 「DICOM Standard 2023c」に準拠・整合性確保
- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」 **まもなく制定**
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」、及び他のデータ交換規約個別編等との整合性確保。
- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
 - 第21回日本デジタルパソロジー・AI研究会 定時総会 (2023年8月24日～26日 於ウインクあいち) にて、病理・臨床細胞関連のJAHIS標準類を紹介。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

- **IHE-PaLM**のWeb会議参加、情報展開。
- **DICOM Standard Committee、WG-26 (Pathology)** への参画。
国際標準化委員会と連携し、5件70項目のCPack、4件のSupplementの国際投票を実施。
- 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照する「JED用語集」のLOINCコードを申請し、審査対応を継続中。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- JAHIS教育事業「医療情報システム入門コース」の検査システム章に関する教材作成、講師を担当。
- 本年度のJAHIS会誌71号において、「医師の働き方改革～タスク・シフト／シェア～において臨床検査システムに期待されていること」（41～42ページ）を記載し、会員全体への情報発信を実施した。
- 勉強会・セミナー『ISO 15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識パートⅡ ～ISO 15189認定の最新情報～』の開催。

JAHIS標類準の策定と改訂、普及活動の推進

- 「JAHIS臨床検査データ交換規約 Ver.5.0C」原案審査（まもなく制定）
 - 「JAHIS データ交換規約(共通編) Ver.1.3」、及び他のデータ交換規約個別編等との整合性確保、日本HL7協会発行 HL7V2.5日本語訳見直し版で見直された用語・説明の反映を目的に改定を進めてきた。本年度内に医療システム部会での原案審査実施。次年度早々に制定する。

JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

- 標準マスターの整備
 - JLAC11普及促進・標準化を目的とした「臨床検査項目標準マスター協議会」に参加継続。
- JAHIS教育事業(医療情報システム入門コース)
 - 日時／場所：2023年7月19日～21日・11月8日～10日／オンライン開催
 - 担当パート：検査（臨床検査・病理診断・生理検査）システム
 - 受講者アンケート結果（内容の満足度、満足＋やや満足）
1回目 100%、2回目 約96%

病理・臨床細胞部門システム専門委員会と共催の勉強会・セミナー

- 日時 : 2024年2月2日 / オンライン開催
- タイトル : 『ISO 15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識
パートII ～ISO 15189認定の最新情報～』
- 内容 : 2020年に開催したISO 15189の第1回勉強会の内容の理解をより深める為に前回講演内容の復習に加えISO 15189の第4版における改訂内容、および最新動向についての勉強会を行った。
- 参加者 : 140名

内訳

会員会社 : 94名
 非会員 : 46名
 (内、医療機関28名)



JAHIS臨床検査システム専門委員会、病理・臨床細胞部門システム専門委員会 合同勉強会
 『ISO 15189認定についてシステムベンダーが知っておくべき知識 パートII
 ～ISO 15189認定の最新情報～』

プログラム:

- | | |
|-----------------------------------------------------|---------------|
| I : 開会挨拶 | 打保 昭典 専門委員長 |
| II : 講演 | |
| ▽ 2020年JAHIS“ISO15189勉強会”の復習と今回の期待
基調挨拶 ファシリテーター | 井口 健 先生 |
| 1. ISO 15189認定の最新情報～世界動向含め～ | 下田 勝二 先生 15分 |
| 2. ISO 15189フレキシブルな認定範囲とは? | 藤澤 真一 先生 35分 |
| 3. ISO 15189:2022規格要求事項について1～既存との変更点～ | 西村 とき子 先生 35分 |
| 4. ISO 15189:2022規格要求事項について2～検査室が求められること～ | 平石 直己 先生 35分 |
| 5. ディスカッション | 20分 |
| 6. 閉会挨拶 | 近藤 恵美 専門委員長 |

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.3.0 制定 (2023.8発行)
 - 「JAHIS内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.2.0」(2019.2発行)の定期見直しを実施。Ver.2.0はDICOM規格2018e版を参照していたため記載が古くなっていた。2023年7月公開のDICOM規格2023c版までの23回のDICOM規格改定に至るまでの差分を反映した。
 - 2023年8月にJAHISサイトにて公開
- 「JAHIS内視鏡検査レポート構造化記述規約Ver.1.0」にて参照している「JED用語集」のLOINCコード取得申請(活動継続中)
 - 昨年度末にLOINCコード取得を米国Regenstrief Incに申請した日本消化器内視鏡学会の消化器内視鏡用語「JED用語集」の審査において、1件の申請における用語数が多いとの指摘を受け、優先順位をつけて5件の申請に分割して再提出した。現在、審査待ち。
 - LOINCコードが取得でき次第、「内視鏡検査レポート構造化記述規約」の改定に着手する予定。

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

- 病理・臨床細胞関連学会・研究会での普及活動
 - 第21回日本デジタルパソロジー・AI研究会 定時総会（2023年8月24日～26日 於 ウィンクあいち）にて、病理・臨床細胞関連のJAHIS標準類を紹介。

海外活動、JAHIS活動との連携

- IHE PaLM国際会議への参加
 - 毎月の国際Web会議に参加し、JAHIS内の関連委員会・WGに展開。
 - 現在、病理・臨床細胞分野においては、DPIO(Digital Pathology – Image Ordering)を検討中。

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

•JAHIS放射線治療データ交換規約の改訂準備

- 「JAHIS放射線治療データ交換規約」の改訂に向けた議論を開始した。

•WGの再編について

- WGで活動中の正会員の人数が不足している中で今後どのように活動を継続しているか検討を行った。
- 他の委員会にも協力していただいた提案内容についても議論を行った。
- ひとまず現時点では現状維持とし、メンバー募集を継続していく。

JAHIS標準類の策定と改定、普及活動の推進

•WG再編成に関して

- 2021年度に、「診療文書構造化記述規約 共通編の維持改良」と「今後の個別編 開発支援（共通ルールの確認、追加）」の2つを目的としてWG再編成を実施したが横軸活動が主になりつつある為、再度、WGの在り方の検討を開始。

•各規約改訂準備

- 「JAHIS診療文書構造化記述規約共通編Ver.2.0」制定に合わせた、各規約改訂の準備。

海外活動、JAHIS活動との連携

- DICOM 国際投票
 - 5件のCpack（70件の修正提案）、4件のSupplement（追補）を関係WG、団体と連携・検討し、医療システム部会、国際標準化委員会の審議を経て投票対応を実施、投票結果の反映をフィードバック
- DICOM Standard Committee(DSC)、及びWG-13・WG-26への参画
 - DSC(DICOM Standard Committee)、WG-26(Pathology)に参画し、最新動向を収集し、情報発信を実施、WG-13(Visible Light)は開催なし
 - DSCではJIRA、JSRTとJapan Reportとして日本の活動を報告



臨床検査項目標準マスター運用協議会



(1) JAHIS標準類の策定と改訂、普及活動の推進

院内及び地域連携に資する検査や治療に関するHL7やDICOMを用いた規約の開発、改訂及び普及活動の推進と検査分野での協力実施。

(2) 海外活動、JAHIS活動との連携

DICOM、IHE International等の国際標準化活動への参画と情報収集・展開。

(3) JAHIS内外に対する検査システム関連の情報提供・連携

教育事業、検査システム委員会主催セミナー等を通じ、JAHIS会員他に検査システムに関する情報提供及び連携に関する参考情報を提供。



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました